

貸借対照表

(令和6年(2024年)3月31日現在)

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	999,539,541	【流動負債】	1,852,955,839
現金及び預金	692,054,766	1年以内返済予定長期借入金	629,780,000
売掛金	31,425,170	1年以内返済予定敷金等	17,670,791
未収金	255,618,816	未払金	528,696,509
その他	20,440,789	未払消費税等	3,851,600
【固定資産】	25,672,744,206	未払法人税等	52,415,300
有形固定資産	22,624,486,777	前受金	213,732,623
建物	5,080,622,463	預り金	374,553,229
建物附属設備	1,634,043,536	賞与引当金	32,255,787
構築物	126,044,089	【固定負債】	12,002,593,703
器具備品	86,816,709	長期借入金	3,187,343,000
土地	15,649,327,537	保証金	1,984,400
建設仮勘定	47,632,419	敷金	4,531,340,756
その他	24	長期前受金	421,581,000
無形固定資産	14,481,465	再評価にかかる繰延税金負債	3,662,149,545
電話加入権	6,356,914	退職給付引当金	198,195,002
その他	8,124,551	負債合計	13,855,549,542
投資その他の資産	3,033,775,964	純 資 産 の 部	
投資有価証券	2,009,317	【株主資本】	4,432,119,751
関係会社株式	100,000,000	資本金	870,000,000
長期前払費用	96,430	利益剰余金	3,562,119,751
差入敷金	1,934,890	利益準備金	46,110,000
長期性預金	2,900,000,000	その他利益剰余金	3,516,009,751
繰延税金資産	29,735,327	固定資産圧縮積立金	6,912,511
		別途積立金	2,471,679,930
		繰越利益剰余金	1,037,417,310
		【評価・換算差額等】	8,384,614,454
		その他有価証券評価差額金	219,443
		土地再評価差額金	8,384,395,011
		純資産合計	12,816,734,205
資産合計	26,672,283,747	負債・純資産合計	26,672,283,747

損 益 計 算 書

(自 令和5年(2023年) 4月 1日
至 令和6年(2024年) 3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額
【 売 上 高 】	4,215,649,867
S C 事 業 売 上	3,180,078,776
関 連 事 業 売 上	266,983,332
ホ テ ル 事 業 売 上	556,114,784
そ の 他 賃 貸 事 業 売 上	212,472,975
【 売 上 原 価 】	3,420,534,979
売 上 総 利 益	795,114,888
【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】	557,171,245
営 業 利 益	237,943,643
【 営 業 外 収 益 】	96,247,312
雑 収 入	96,247,312
【 営 業 外 費 用 】	63,474,256
支 払 利 息	63,474,256
経 常 利 益	270,716,699
税 引 前 当 期 純 利 益	270,716,699
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	76,593,629
法 人 税 等 調 整 額	△ 29,831,175
当 期 純 利 益	223,954,245

株主資本等変動計算書

自 令和5年(2023年) 4月 1日 至 令和6年(2024年) 3月 31日

(単位:百万円)

	株主資本							評価・換算差額等				純資産計 合		
	資本金	利益剰余金						株主資本計 合	その 他有 価証 額 差	土 再 差 額	地 価 差 額		評 換 差 額	価 額 等 計
		利 準 備 金	益 金	その他利益剰余金			利 剰 余 金 計							
				固 定 資 産 積 立 金	別 途 積 立 金	繰 上 り 利 剰 余 金								
当期首残高	870	46	7	2,471	812	3,338	4,208	△0	8,384	8,383	12,591			
当期変動額														
固定資産圧縮積立金の取崩			△0		0	-	-				-			
当期純利益					223	223	223				223			
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								0		0	0			
当期変動額合計	-	-	△0	-	224	223	223	0	-	0	224			
当期末残高	870	46	6	2,471	1,037	3,562	4,432	0	8,384	8,384	12,816			

* 単位未満については切り捨てて表示しています。

個別注記表

〔重要な会計方針〕

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

- (1) 子会社株式
移動平均法による原価法
- (2) その他有価証券
市場価格のない株式等以外のもの
決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）
市場価格のない株式等
移動平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産
定率法によっております。但し、デュオ2ビルおよび平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。
- (2) 無形固定資産
定額法によっております。但し、ソフトウェア（自社利用）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金
債権の貸倒れによる損失に備えるため、貸倒懸念債権について個別に回収可能性を検討し、回収不能見込み額を計上しております。
- (2) 賞与引当金
従業員の賞与支給に備えるため、将来の支給見込み額のうち、当事業年度の負担額を計上する方法を採用しております。
- (3) 退職給付引当金
役員の退職慰労金並びに従業員の退職金の支給に備えるため、退職慰労金に関する内規並びに退職金規程に基づく期末要支給額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

不動産賃貸業は主にテナント施設の賃貸によりサービス提供をしており、リース取引に関する会計基準に従い、その発生期間に賃貸収益を認識しております。また、ホテル事業、その他の関連事業については、顧客にサービスを提供した時点で収益を認識しております。

5. ヘッジ会計の方法

- (1) ヘッジ会計の方法
金利スワップについては、特例処理の要件を満たしているため、特例処理を採用しております。
- (2) ヘッジ手段とヘッジ対象
ヘッジ手段：金利スワップ、ヘッジ対象：借入金
- (3) ヘッジ方針
当社は金融機関からの借入金の一部について、金利変動によるリスクを回避するため、金利スワップ取引を利用しております。
- (4) ヘッジ有効性評価の方法
金利スワップの特例処理の要件を満たしているため、有効性の判定を省略しております。

〔会計上の見積りに関する注記〕

繰延税金資産の回収可能性

1. 当事業年度の計算書類に計上した金額 32 百万円（繰延税金負債相殺前）

2. 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

(1) 算出方法

将来の事業計画に基づく将来課税所得の発生見込みおよび将来加算一時差異の解消見込みに基づき、回収可能と判断される金額を計上しております。

(2) 主要な仮定

将来の事業計画における主要な仮定は、ショッピングセンター部門におけるテナントの売上および入退店状況に基づくものであります。

(3) 翌事業年度の計算書類に与える影響

当該見積りに関する主要な仮定は、見積りの不確実性が高く、将来の経済情勢等により変動することが予想され、翌事業年度の計算書類において、繰延税金資産の金額に重要な影響を与える可能性があります。

〔貸借対照表に関する注記〕

1. 担保提供資産 (担保に供している資産)

建物	5,080 百万円
建物附属設備	1,629 百万円
構築物	114 百万円
土地	9,460 百万円
計	16,284 百万円

(上記に対応する債務)

1 年以内返済予定長期借入金	618 百万円
長期借入金	3,119 百万円
敷金	2,843 百万円

2. 資産から直接控除した貸倒引当金

未収金	1 百万円
長期未収入金	12 百万円

3. 有形固定資産の減価償却累計額 31,813 百万円

4. 関係会社に対する短期金銭債権 17 百万円
関係会社に対する短期金銭債務 66 百万円

5. 「土地の再評価に関する法律」（平成 10 年法律第 34 号）に基づき、事業用土地の再評価を行い、評価差額にかかる税金相当額を「再評価にかかる繰延税金負債」として負債の部に計上し、これを控除した金額を「土地再評価差額金」として純資産の部に計上しております。

(1) 再評価の方法：「土地の再評価に関する法律施行令」（平成 10 年政令第 119 号）第 2 条第 4 号に定める地価税法第 16 条に規定する地価税の課税価格の計算の基礎となる土地の価額を算定するために国税庁長官が定めて公表した方法により算定した価額に合理的な補正調整を行って算出しております。

(2) 再評価を行った年月日：平成 14 年 3 月 31 日

なお、再評価を行った土地の時価が再評価後の帳簿価額を上回っているため、差額を記載していません。

〔損益計算書に関する注記〕

- | | |
|---------------|---------|
| 1. 関係会社への売上高 | 19 百万円 |
| 2. 関係会社からの仕入高 | 452 百万円 |

〔株主資本等変動計算書に関する注記〕

1. 発行済み株式の種類及び総数

(単位：株)

株式の種類	当期首株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数
発行済株式 普通株式	1,740,000	—	—	1,740,000

2. 配当に関する事項

基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの
令和6年6月19日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次の
通り提案しております。

a. 配当金の総額	17,400 千円
b. 1株当たり配当額	10 円
c. 基準日	令和6年3月31日
d. 効力発生日	令和6年6月20日

なお、配当原資については、利益剰余金とすることを予定しております。

〔税効果会計に関する注記〕

繰延税金資産の発生の主な原因は、減価償却限度超過の否認等であり、繰延税金負債の発生の主な原因は土地再評価差額にかかる税金相当額であります。

〔金融商品に関する注記〕

1. 金融商品の状況に関する事項

当社の資金運用については預金に限定し、また資金調達については銀行等金融機関からの借入に限定しております。

また、投資有価証券は株式のみであり、上場株式については半期ごとに時価の把握を行っております。

借入金の用途は設備投資資金（長期）であります。一部の長期借入金について、支払金利の変動リスクに対するヘッジを目的として金利スワップ取引を実施しております。

なお、入居テナントからは契約上の債務を担保するため、敷金及び保証金を受領しております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

令和6年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

なお、市場価格のない株式等(投資有価証券0百万円及び関係会社株式100百万円)は、次表には含めておりません。

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額 (※)	時価 (※)	差額
(1) 投資有価証券	1	1	—
(2) 長期借入金(1年以内返済予定を含む)	(3,817)	(3,824)	7
(3) 敷金及び保証金(1年以内返済予定を含む)	(4,550)	(3,496)	△1,054

(※) 負債に計上されているものについては、()で示しております。

(注)時価に算定に用いた評価技法及びインプットの説明

(1) 投資有価証券

投資有価証券の時価について、株式は取引所の価格によっております。

(2) 長期借入金(1年以内返済予定を含む)

長期借入金の時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。金利スワップの特例処理によるものは、ヘッジ対象とされている長期借入金と一体として処理されているため、その時価は、長期借入金の時価に含めて記載しております。

(3) 敷金及び保証金(1年以内返済予定を含む)

敷金及び保証金の時価については、返還期間を見積もった年数で割り引いて算定する方法によっております。

〔賃貸等不動産に関する注記〕

当社では、賃貸商業施設(土地を含む)を有しており、賃貸等不動産の貸借対照表計上額及び時価は次のとおりであります。

(単位：百万円)

貸借対照表計上額	時 価
21,034	39,288

(注1) 貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した金額であります。

(注2) 当事業年度末の時価は、主として「不動産鑑定評価基準」に基づいて算定した金額(指標等を用いて調整を行ったものを含む)であります。

〔収益認識に関する注記〕

収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針」の「4. 収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

〔関連当事者との取引に関する注記〕

1. 子会社等

属性	会社等の名称	住所	資本金 又は 出資金 (百万円)	事業の 内容 又は 職業	議決権の 所有(被 所有)割 合(%)	関係内容		取引内容	取引 金額 (百万円)	科目	期末 残高 (百万円)
						役員の 兼任等	事業上 の関係				
子会社	アーク 開発振 興(株)	札幌市 厚別区	171	ビルメ ンテナ ンス業	(所有) 直接 46.60%	兼任 5名	営業上 の取引	当社商業施設 のビルメンテ ナンス(お業 務委託(注2))	222	未収入金 未払金 前受金 預り金	0 23 0 16
	(株)アーク ホテル システム	札幌市 厚別区	20	ホテル 管理運 営	(所有) 直接 100.00%	兼任 3名	営業上 の取引	当社ホテル事 業の運営管理 業務委託 (注3)	229	未収入金 前渡金 未払金	16 1 25

(注1) 上記の金額のうち取引金額には消費税を含まず表示しております。

(注2) 取引条件及び取引条件の決定方針等は他の取引先と同様であります。

(注3) 業務委託費については委託先の総原価を考慮し、協議により決定しております。

〔1株当たり情報に関する注記〕

1. 1株当たり純資産 7,365円94銭

2. 1株当たり当期純利益 128円71銭

〔重要な後発事象に関する注記〕

該当事項はありません。